

## 2017年 社長(三宅 俊作)年頭挨拶について

各位

新年明けましておめでとうございます。

本で行われた、当社社長 三宅 俊作の社員に向けた年頭挨拶の要旨を、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業環境

当社事業を振り返ると、過去2年間は厳しい期間であった。2014年からの油価暴落と低迷を受け、コスト削減や投資抑制・先送りを行い、選択と集中による事業の再構築を進めた。このような取り組みの結果、低油価に耐えられる事業構造が出来上がりがつつある。

また、この間、人材育成システムの拡充や組織・権限の見直しを始めとする制度やルールの変更を実行すると共に、全社一丸となって事業に取り組むため、社内の情報共有基盤の強化や、全社員の共有価値観となるシェアードコンセプトの策定を行った。

これらの取り組みにより、当社は、今後進むべき道筋を定め、前進するための環境が整備されたと考えている。

#### 2. 次期中期経営計画

次期中期経営計画については、これまでの成果と反省点、そして当社の実力を踏まえ、我々の強みを活かすことができる戦略を策定する。

油価についてはいくつかのケースを想定し、それぞれについて課題や戦略を検討しており、既存の事業だけでなく、新たな計画も織り込む考えである。

今後とも、事業環境の不透明感は続くと考えられるため、これまで以上に情報の収集と分析を行い、適時・適切な判断を打ち出していく。

#### 3. 気持ちの切り替え

この2年間、様々な取り組みを実行してきた。油価については、なお不安定感が付きまとうが、最悪期は脱しつつあり、潮流が変わり始めたと感じている。今まさに、我々は気持ちを切り替えるべき時期にある。

カタールでは2本目の試掘井が掘り進められ、米国ではCO<sub>2</sub>-EORが稼働しようとしている。さらに、マレーシアの深海R鉱区でも2本目の評価井を掘り始める。

4月にはJXTGグループがスタートする。我々としては、中下流事業との連携を一層深めつつ、産油国や産ガス国との関係をより強固なものとし、当社事業の強化につなげていきたい。

#### 4. 最後に

諸課題を克服し、次期中期経営計画を達成に導くため、健康と安全、そしてコンプライアンスを第一に、この一年もまた一緒に、元気に活発に仕事を楽しんでいきたい。

以上